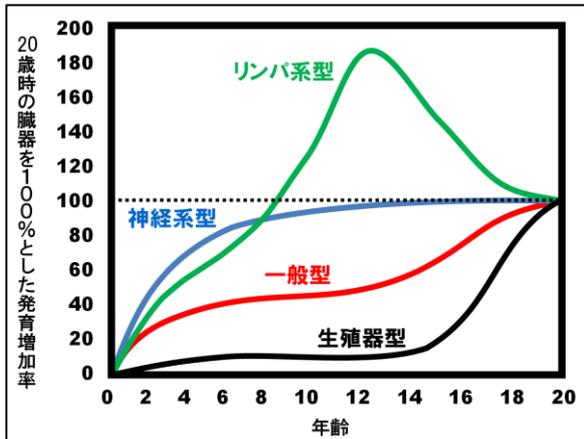


♡ 要点まとめ（第26回\_人体の構造と機能及び疾病） ♡

● スキャモンの発育曲線（問題1） 国試ナビ（社2023）P.278/（社2024）P.284🔍

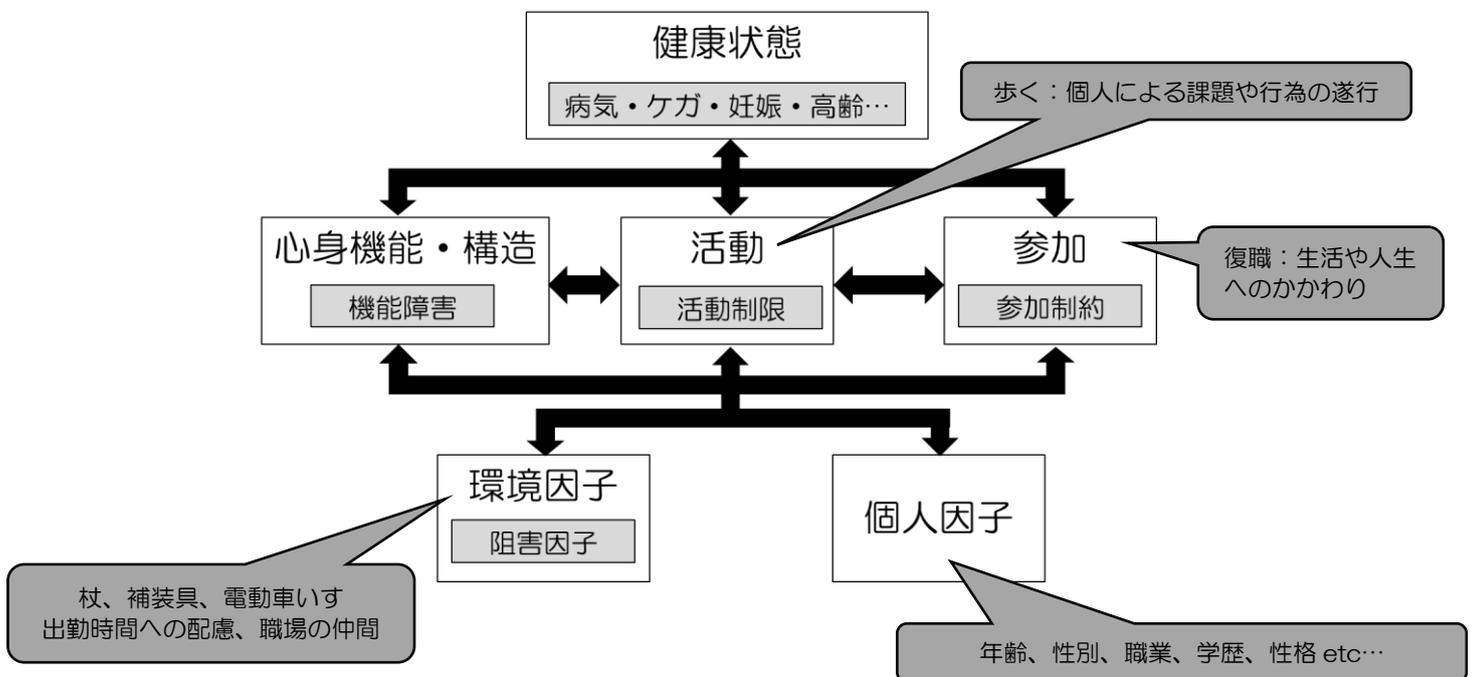
⇒人間の成長過程を振り返ると、きっとそんなに難しい話ではないはず…☺



- ☼ 20歳を100%として計算したもの
- ☼ 性徴期…①胎児、②思春期（♂11~14歳、♀9~12歳）
- ☼ 一般型（身長や体重など）…S字カーブで、乳幼児期と思春期にグーッと♡
- ☼ リンパ型…12~13歳ごろまでグングン🐘🐘🐘
- ☼ 神経型…4~6歳でほぼ成人並み🐣

● ICF（問題2） 国試ナビ（社2023）P.304/（社2024）P.309🔍

⇒2001年にWHOが採択した生活機能と障害の分類法（対象者：全ての人）



- 機能障害：心身機能や構造に関する問題（例：片麻痺、気分の低下、妄想など）
- 活動制限：個人の活動時に生じる難しさ（例：歩行困難、通勤困難）
- 参加制約：社会に参加する時に生じる難しさ（例：融通の利かない社則）

●身体障害者：内部障害（問題3）国試ナビ（社2023）P.94/（社2024）P.96🔍

⇒ “障害者の定義” は頻出です👁️

👁️身体障害者…身体障害者手帳を交付された18歳以上の人（by 身体障害者福祉法）

👉 「身体障害者障害程度等級表」に基づいて交付👁️

〔障害の種類〕

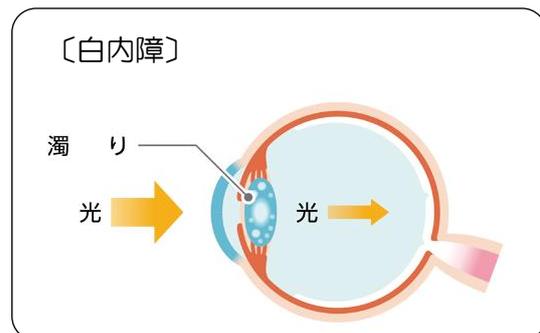
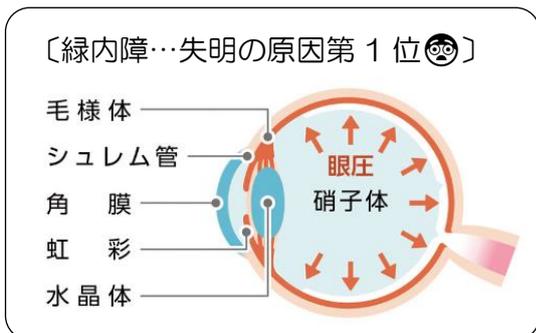
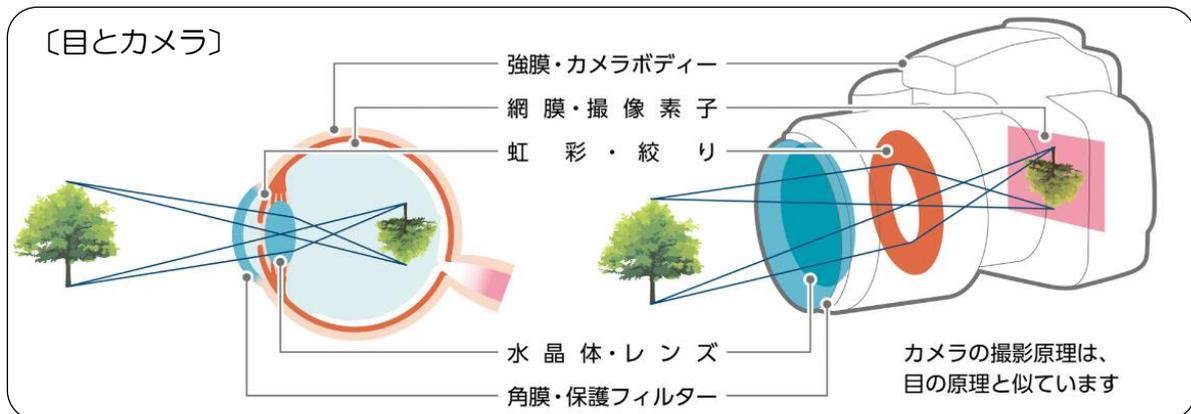
視覚、聴覚、平衡機能、音声/言語/そしゃく機能、肢体不自由、  
 内部障害（心臓、腎臓、呼吸器、膀胱/直腸、小腸、HIVによる免疫障害、肝臓）

👁️知的障害者…法律上の定義なし👁️

👁️精神障害者…統合失調症、精神作用物質による急性中毒又はその依存症、知的障害その他の精神疾患を有する者（by 精神保健福祉法）

●👁️（問題4）国試ナビ（社2023）P.286/（社2024）P.292🔍

⇒むかーしむかし、理科の授業で習った人もいるのでは…（👁️\_👁️）ジーン...



●廃用症候群（問題7）国試ナビ（社2023）P.303/（社2024）P.308🔍

⇒別名：生活不活発病...😞

〔主な症状〕

筋力の低下、関節の拘縮（動かなくなる）、骨がもろくなる、褥瘡（床ずれ）<sup>じよくそう</sup>ができる etc...

…と、そうなってしまわないように、急性期の時期からできる範囲で体を動かすリハビリテーションを導入するわけです👁️  
 個人的に思う一番大事なことは縦になることですね👁️  
 寝たきりよりも座りきり、座りきりよりも立位保持、、、そうすると、視界に入る情報が増えるし、人と交流する機会も増えるし、負荷がかかることでカルシウムが定着して骨も強くなるし、活動量が増えればご飯もおいしくなるし、、、一石いっばい鳥🐦🐦🐦

●発達障害（問題5） 国試ナビ（社2023）P.300/（社2024）P.306/（精2023/2024）P.43

⇒いろいろな科目で出てくるコスパ優良問題♡

- LD（限局性学習症/学習障害）：全体的な知的能力は標準で、特定の能力だけが著しく低い  
（読字障害、算数障害、書字障害など）
- AD/HD（注意欠如・多動症）：不注意、多動、衝動性の2つ以上により、社会生活が損なわれる  
全体の人数で見ると、男 > 女  
DSM-5による診断基準…12歳までに症状があること  
学童期の有病率…7%くらい

【不注意：女兒に多い傾向あり】

集中してなにかに取り組むことが出来ない、いろんなことに気が散る、順序立てて課題に取り組むのが苦手、忘れ物が多い…など

大人になっても残りやすい

【多動/衝動性：男児に多い傾向あり】

ずーっとそわそわしている、授業中に離席しがち、不適切な状況で走り回るなど  
多動性⇒大人になるにつれて目立たなくなっていく…

衝動性⇒大人になっても残るかどうかは環境や性格による

- ASD（自閉症スペクトラム症）：男児に多く、3歳頃までに明らかになる

• 社会的コミュニケーションの障害

相手の立場に立って考えることが苦手、空気が読めない、視線を合わせない、他人への関心が薄い、言語発達が乏しい、一本調子の話し方、反響言語（オウム返し）

• 常同的/反復的な動作や発語

常同行動、順序や手順が同じであることへのこだわり、儀式的な行動パターン

• 同一性へのこだわり

順序や手順が同じであることへのこだわり

• 異常に限局された興味

• 感覚過敏/鈍麻

- ◇ 3～4割程度の人が、AD/HDを併発している説あり
- ◇ 1～6割程度の人が、知的障害を併発している説あり
- ◇ 6～8割程度の人が、睡眠障害を併発している説あり

●DSM-5（問題6）国試ナビ（社2023）P.299~/（社2024）P.305~/（精2023/2024）P.279\*

⇒精神科領域では常識の域なので、正しく理解しておきましょう👌👏

◇ ICD-10：WHOが**全ての疾患**について、疾患名と診断基準を整理したもの

※2022年2月にICD-11が発効されましたが、日本における切り替え時期は未定です🌐👉

◇ DSM-5：アメリカ精神医学会が**精神疾患のみ**について、疾患名と診断基準を整理したもの

1. 神経発達症群/神経発達障害群
2. 統合失調症スペクトラム障害および他の精神病性障害群
3. 双極性障害および関連障害群
4. 抑うつ障害群
5. 不安症群/不安障害群
6. 強迫症および関連症群/強迫性障害および関連障害群
7. 心的外傷およびストレス因関連障害群
8. 解離症群/解離性障害群
9. 身体症状症および関連症群
10. 食行動障害および摂食障害群
11. 排泄症群
12. 睡眠-覚醒障害群
13. 性機能不全群
14. 性別違和
15. 秩序破壊的・衝動制御・素行症群
16. 物質関連障害および嗜癖性障害群
17. 神経認知障害群
18. パーソナリティ障害群
19. パラフィリア障害群
20. 他の精神疾患群
21. 医薬品誘発性運動症群および他の医薬品有害作用
22. 臨床的関与の対象となることのある他の状態